

つなげる

今聞こえた小学校のチャイムの音に、あなたは何を感じましたか。今年1年生になったあの子には、どんな風に聞こえたのでしょうか。個人の感覚体験を別の誰かとつなげてみると、ありふれた感覚の中に新しい発見が生まれます。

「つなげる」は、みつけてきた感覚環境をわかちあう段階です。本来主観的な感覚の情報を、人に伝えやすく絵やことばなどで整理しながら、別の誰かと“感覚環境のモノサシ”を共有していきます。

例えば、みんなで一緒にまちを歩き、“いい感じ”のまちについて考えたり話し合ったりするワークショップのほか、ブログやホームページ、WEB上のマップを使って多くの人からの情報を集め、まとめていくという方法もあります。感覚をテーマにした公募や写真・俳句などのコンテストを開くのもおもしろいですね。

いずれにしても、“感覚環境のモノサシ”を共有していくプロセスそのものが、まちに暮らす人々が互いに理解を深め合ったり、埋もれていた地域の魅力を再発見したり、まちの将来目標を描いたりといったことにつながり、ひいてはまちへの愛着を深める機会にもなるでしょう。



うごく

まちの“いい感じ”は発見できましたか。みんなで“感覚環境のモノサシ”を共有することができましたか。感覚環境という新たな視点によって、日々過ごしているまちの姿が、今までとは少し違って見えてきたのではないのでしょうか。

「うごく」は、“いい感じ”のまちを伝え、育んでいくために、ひとりひとりが活躍する段階です。まずは、“いい感じ”のまちづくりをご近所や友人に広めましょう。そして、“いい感じ”の場所に名前をつけたり、他のまちの“いい感じ”を訪れ勉強したりするのもいいでしょう。“感覚のモノサシ”を共有した仲間と、“いい感じ”のまちづくりを行政に提案できたらすごいですね。

また、“感覚環境のモノサシ”で繰り返しまちを見直してみると、以前見つけた“いい感じ”が無くなっていたり、新たな“いい感じ”がうまれているかもしれません。

「みつける」「つなげる」「うごく」を繰り返しながら、少しずつ場の居ごちやまちの住みごちをよくしていく。ゆっくりとじわじわ効いてくる温泉の効能のような、感覚環境の視点からの“いい感じ”のまちづくりを、みなさんもいつしよにはじめてみませんか？

“いい感じ”のまちづくりのヒント

計画・設計・整備、その後の変化のモニタリングなど、“感覚環境のモノサシ”はまちづくりの色々な場面で、その方向性を判断する1つの基準となり、まちづくりに関わる人々の相互理解や合意形成を助けます。また、「みつける」「つなげる」「うごく」のプロセスが、まちへの愛着を育み“いい感じ”のまちを継承していく原動力となります。

"いい感じ"の まちづくり 事例集

すでに各地で行われている、「いい感じ」のまちづくりを紹介します。

1 大丸有地区再開発 (千代田区)

ヒートアイランド緩和のための屋上緑化や街路樹整備、散水・打ち水のプロジェクトのほか、イルミネーションやクラッシュクックなど光や音のイベントも開催。



大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会
<http://www.lares.dti.ne.jp/tcc/index.html>

2 五感で楽しむ奈良 (奈良県)

五感で楽しめるいきいきとした魅力を奈良に加えていきたいという趣旨で「五感で楽しむ奈良」を公募し、全国2,207件の応募の中から、108件を選出。



私のおすすめ「五感で楽しむ奈良」
<http://www.pref.nara.jp/kanko/gokan/108/index.html>

3 宍道湖を五感でチェック (島根県)

宍道湖・中海周辺の湖沼環境を、人の五感による分かりやすい指標を使って、地元の市民モニターや地元中学・こどもエコクラブなどがモニタリング。



宍道湖・中海の環境を五感でチェックしてみよう！
http://www.pref.shimane.lg.jp/environment/kankyo/kankyo/shinjiko_nakaumi/sn_gokan.html

4 みどり香るまちづくり (松本市) (稚内市)

良好なかおり環境の創出を支援する企画コンテスト。H18年度「チョウと香りの森(松本市)」H19年度は「香りとさえずりの杜(稚内市)」が環境大臣賞を受賞。



みどり香るまちづくり企画コンテスト
http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/index.html

5 残したい日本の音風景100選

地域のシンボルとして大切に、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境を公募、「残したい日本の音風景100選」が選定された。



残したい「日本の音風景100選」
<http://www.env.go.jp/air/life/oto/>

6 知る区ロード (杉並区)

「杉並という土地の感覚」にふれるきっかけとして、区内を巡るルートと拠点施設を整備。毎年夏休みに開催される、交流イベントは20周年をむかえた。



杉並区「知る区ロード」
<http://www.suginami-siruku.org/>

7 橘のかおりでまち興し (鳥羽市)

ある市民から贈られた、市の木「橘」の苗木、現在までに約5千本が市民の手でまちに植えられ、商工会議所では、かおりを活用した商品開発を進めている。



鳥羽市商工会議所
<http://www.lares.dti.ne.jp/tcc/index.html>



●もっと詳しくご覧になりたい方は…「いい感じ」のまちづくり(本編)をご覧ください。

感覚環境設計テキスト作成検討会

総合

小林 亨 (座長) 前橋工科大学 大学院 教授 (工学部/工学研究科/建設工学専攻)
井上 成 大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会 (三菱地所株式会社都市計画事業室室長)

ねつ

一ノ瀬 俊明 独立行政法人国立環境研究所主任研究員 (社会環境システム研究領域)
村上 暁信 東京工業大学大学院 講師 (総合理工学研究科/環境理工学創造専攻)

光

面出 薫 (株)ライティング・プランナーズ・アソシエイツ 代表取締役
富田 泰行 (株)トミタ・ライティングデザイン・オフィス 代表

かおり

水庭 千鶴子 東京農業大学 講師 (地域環境科学部/造園科学科)
吉武 和文 (有)香りのデザイン研究所 所長 (パフュームデザイナー)

音

田中 直子 宮城学院女子大学 講師
坂本 慎一 東京大学生産技術研究所 准教授

“いい感じ”のまちづくり 概要版

～感覚環境のモノサシをまちづくりに織り込むために～

発行：環境省 水・大気環境局大気生活環境室

作成：感覚環境設計テキスト作成検討会

編集・デザイン：(株)タム地域環境研究所/ (株) LAO



環境省 水・大気環境局大気生活環境室
TEL: 03-3581-3351 (代)
<http://www.env.go.jp>